

令和 4 年 度

広島大学法学部編入学試験

問 題 【小論文】

令和 3 年 1 1 月 2 0 日 (土)

自 9 時 3 0 分

至 1 1 時 0 0 分

答案作成上の注意

1. この問題冊子（表紙を含め 9 枚）には小論文の問題があります。
2. 解答用紙は 2 枚，下書き用紙は 2 枚です。
3. 解答はすべて指定された解答用紙に記入してください。
4. 受験番号は，解答用紙の所定の箇所に必ず記入してください。
5. 問題冊子，下書き用紙は，試験時間が終了するまで持ち出すことはできません。ただし，試験時間終了後は持ち帰って構いません。
6. 解答用紙は，持ち出してはいけません。

以下の文章は、【1】と【2】が吉原祥子『人口減少時代の土地問題』（中公新書・2017年）の一部を、また、【3】は読売新聞・2021年6月11日朝刊の記事を抜き出したものである。これらの文章を読んで、後の問題1～問題3に答えなさい。

【1】

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

【2】

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

【3】

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

< 語句 >

法定相続人：法律の規定によって相続人となる人。民法に規定がある。

相続土地国庫帰属法：「相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律」の略称。

催告：相手方に対して一定の行為を要求すること。

<出典>

【1】：吉原祥子『人口減少時代の土地問題』（中公新書・2017年）5-6頁、9-11頁

【2】：吉原・同書 22-28頁、30-31頁

【3】：解説＝阿部文彦、読売新聞 2021年6月11日東京朝刊 12頁

（注）出題にあたり、縦書きであった原文を横書きに改めた。また、出題の都合上、語句の説明を付するとともに、原文の一部・図等の省略、表現を改める、ルビを振る等の必要な改変を行った。

問題1 【1】によると、筆者は、土地の所有者不明化と相続との間にどのような関係があると述べているか。その内容がわかるように説明しなさい。

問題2 【1】と【2】の筆者は、「権利の放置」について、なぜそれが起きると考えているか。その内容がわかるように説明しなさい。

問題3 【3】は、所有者不明土地の解消に向けた法改正等についての新聞記事である。この法改正等でどのような仕組みが設けられたかを説明しなさい。また、それらの仕組みがその効果を発揮するためには、どのようなことが問題になると考えられるか。文章全体の内容も踏まえつつ、あなたの考えを述べなさい。